

鹿児島県の人口10万人 3人となり、全国平均1人当たりのぜんそくによる死亡者数「ぜんそく死亡率」は2017年に3・最悪だった。県健康増進

鹿児島ぜんそく死亡率最悪

全国平均の2.4倍

専門医「継続治療が必要」

国の人口動態統計を基に県健康増進課が作成した資料によると、17年のぜんそく患者数は全国で111万7千人、そのうち1794人が死亡した。県内の死者は53人だ

「ぜんそくは継続した治療が必要な疾患。医療従事者から患者への指導が徹底できず、患者が自己判断で治療を中止してしまうケースが多いことも要因の一つ」とし、医療従事者への啓発活動の重要性を述べた。

課の調べでは、少なくとも13年以降は全国平均を上回る状況が続いている。

「ぜんそくは継続した治療が必要な疾患。医療従事者から患者への指導が徹底できず、患者が自己判断で治療を中止してしまうケースが多いことも要因の一つ」とし、医療従事者への啓発活動の重要性を述べた。

日本アレルギー学会専門医で、鹿児島大学呼吸器内科学の井上博雅教授は、吸入薬の使用法などは、専門的な知識を持った医療従事者が少ないことを理由に挙げた。「ぜんそくは継続した治療が必要な疾患。医療従事者から患者への指導が徹底できず、患者が自己判断で治療を中止してしまうケースが多いことも要因の一つ」とし、医療従事者への啓発活動の重要性を述べた。

【問1】「ぜんそく死亡率」とは何でしょう。

【問2】2017年の鹿児島県のぜんそく死亡率は何人だったのでしょうか。

()人

【問3】2017年の鹿児島県のぜんそく死亡率は都道府県別でどうだったのでしょうか。

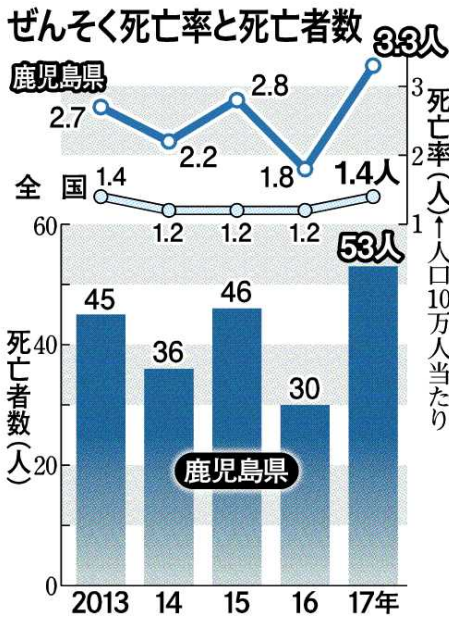
【問4】井上博雅教授は、理由をどう説明しているでしょう。

【調べてみよう】ぜんそくについて調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

- 状況(じょうきょう) 患者(かんじゃ)
- 医療(いりょう) 継続(けいぞく) 疾患(しつかん)=病気 徹底(てつてい)
- 啓発(けいはつ)=気づいていないことを教え、みちびくこと 勘違(かんちが)い
- 既往(きおう)=前にあったこと 傾(かたむ)けて 訴(うた)え





鹿児島県の人口10万人 3人となり、全国平均1人当たりのぜんそくによる死亡者数「ぜんそくによる死亡者数」は2017年に3・最悪だった。県健康増進

鹿児島ぜんそく死亡率最悪

全国平均の2.4倍

専門医「継続治療が必要」

国の人口動態統計を基に県健康増進課が作成した資料によると、17年のぜんそく患者数は全国で111万7千人、そのうち1794人が死亡した。県内の死者は53人だ

「ぜんそくは継続した治療が必要な疾患。医療従事者から患者への指導が徹底できず、患者が自己判断で治療を中止してしまうケースが多いことも要因の一つ」とし、医療従事者への啓発活動の重要性を述べた。

日本アレルギー学会専門医で、鹿児島大学呼吸器内科学の井上博雅教授は、吸入薬の使用法などは、専門的な知識を持った医療従事者が少ないことを理由に挙げた。「ぜんそくは継続した治療が必要」と説明。「(ぜんそくは)発作が起きない時期があると、治ったと勘違いしてしまう。既往歴がある患者は、肺機能検査などを受けて、医療従事者からのアドバイスに耳を傾けてほしい」と訴えた。

【問1】「ぜんそく死亡率」とは何でしょう。

人口10万人当たりのぜんそくによる死亡者数

【問2】2017年の鹿児島県のぜんそく死亡率は何人だったのでしょうか。

(3.3)人

【問3】2017年の鹿児島県のぜんそく死亡率は都道府県別でどうだったのでしょうか。

最悪(全国平均の2.4倍)

【問4】井上博雅教授は、理由をどう説明しているでしょう。

吸入薬の使用法など、専門的な知識を持った医療従事者が少ないこと

【調べてみよう】ぜんそくについて調べてみよう。

むずかしい漢字とことば

状況(じょうきょう) 患者(かんにゃ) 医療(いりょう) 継続(けいぞく) 疾患(しつかん)=病気 徹底(てつてい) 啓発(けいはつ)=気づいていないことを教え、みちびくこと 勘違(かんちが)い 既往(きおウ)=前にあったこと 傾(かたむ)けて 訴(うた)え

